

2011

Green Festival

入場無料

第318回

10月4日(火) 17:00 開演 (開演時刻にご注意ください)

● 演劇公演 001 期間限定公演

『WWW (ワンダフルスリー)』

作＝樋口ミユ 演出＝棚瀬美幸 出演＝出口弥生 条あけみ (あみゅーず・とらいあんぐる)
キタモトマサヤ (遊劇体) 丸山英彦 (デス電所)

第319回

10月22日(土) 15:00 開演

● 長谷川陽子 (チェロ) デュオの午後
風呂本佳苗 (ピアノ)

第320回

11月19日(土) 15:00 開演

● 仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後
指揮/ゲルハルト・ボッセ 神戸市室内合奏団
－モーツァルト連続演奏 第8回(最終回)－

第321回

11月23日(水・祝) 18:00 開演 (開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学チアリーダー部
第19回 Dancing EXPO 2011

第322回

11月25日(金) 17:00 開演 (開演時刻にご注意ください)

● ダンス公演 「春昼」「黄昏れる砂の城」～泉鏡花を踊る
構成・振付/サイトウマコト 出演/ザビエル守之助 白井麻子 関典子 ヤザキタケシ

第323回

12月4日(日) 15:30 開演

● 神戸学院大学混声合唱団パンドラ 第24回定期演奏会
客演指揮/西牧 潤 北井春花 学生指揮/三浦 茜

第324回

12月23日(金・祝) 18:30 開演 (開演時刻にご注意ください)

東日本大震災チャリティーコンサート

● 神戸学院大学管弦楽団 第17回定期演奏会
「REVIVAL 鎮魂・復興 ～KOBEGAKUINからエールを～」

指揮/松井隆司 合唱/市民合唱団きらぼし、神戸学院大学混声合唱団パンドラ
会場/明石市民会館 大ホール (会場にご注意ください)

会場/神戸学院大学有瀬キャンパス メモリアルホール(9号館6階)

主催/神戸学院大学 後援/兵庫県、(財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元気文化圏

- お申込方法 | 往復はがきを使用してください。私製はがきや2枚のはがきの貼
り合わせは避けてください。申込者多数の場合は抽選になります。
- ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
 - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
 - ・ 返信裏面は空白のままにお願いします。
 - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
 - ・ 受付期間は各公演の1ヶ月前～2週間前(必着)です。
 - ・ (※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日・休日の場合は翌日)
 - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

～個人情報取扱について～

入場申込往復はがきにご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、
入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込状況の統計分析に限って使用します。

- お申し込み・お問い合わせ先
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係
電話078-974-6105 (担当部署:企画部 広報・渉外グループ)

- 交通経路と所要時間
- ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
 - ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学経由明石駅行」バスに乗車(約15分)
 - ③ JR「朝霧」駅より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約10分) <(注) 運行本数少
お車での来場は固くお断りいたします。

<http://www.kobegakuin.ac.jp/>

関西から
文化力
POWER OF
CULTURE



ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に一流の舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各5～9回の公演を無料で提供しています。西欧のクラシック音楽、多種多様な演劇、ダンスなどを中心に国内外のアーティストを招き、非常に高いレベルの、また一般の催しとは一味違うものを提供することを念頭におき、その独自性が高く評価されています。

演劇公演 ゼロゼロワン 001期間限定公演 『WWW(ワンダフルスリー)』

作＝樋口ミユ 演出＝棚瀬美幸 出演＝出口弥生 条あけみ(あみゅーず・とらいあんぐる) キタモトマサヤ(遊劇体) 丸山英彦(デス電所)
照明＝葛西健一 音響＝大西博樹 映像＝サカイヒロト 舞台監督＝河村都

多くの戯曲賞を受賞してきた元Ugly ducklingの樋口ミユと文化庁新進芸術家留学制度でドイツに留学してきた南船北馬の棚瀬美幸という、関西を代表する女性演劇人2人のコラボによる待望の新作です。「日本の内側から見た日本と日本人の生き方」をテーマに据えて、日本の未来とその未来の果てを描こうとする樋口ミユの脚本を、棚瀬美幸がドイツ・パフォーミングアーツの手法を取り入れながら、批評性豊かな演出を大胆に試みます。配役された俳優たちも、関西小劇場界を牽引する精鋭たちが揃いました。今年6月の『山の声』に続き、メモリアルホールで演劇の新たな魅力が花開きます。

長谷川陽子・風呂本佳苗 デュオの午後

- 曲目 ● ドビュッシー…………… チェロとピアノのためのソナタ ニ短調
- カサド…………… 無伴奏チェロ組曲
- ファリャ…………… スペイン民謡組曲
- フランク…………… チェロとピアノのためのソナタ イ長調
- ピアソラ…………… ル・グラン・タンゴ

レジデント・アーティストの陽子さんの今回のプログラムはラテン系でまとめたものです。いずれもチェロの曲としてよく知られたもので、ドビュッシーはチェロ・ソナタの歴史上に逃せない1曲。フランクはヴァイオリン・ソナタの歴史上に輝くものであることから、チェロを初めとする他の楽器でもよく演奏されます。あとの3曲の個性豊かさもお楽しみください。陽子さんは25回目、風呂本さんは10回目のグリーン・フェスティバル登場です。

仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後 指揮/ゲルハルト・ボッセ 神戸市室内合奏団

- 曲目 ● モーツァルト…………… ディヴェルティメント ヘ長調 K.138(125c)
- モーツァルト…………… ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467
- モーツァルト…………… ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 K.466

郁代さんによるモーツァルト連続演奏の締めくくりはオーケストラとの協奏曲です。これまでお聴きいただいたソナタにもすばらしい作品が多いのですが、彼のピアノ・ソナタとピアノ協奏曲を比較した場合、協奏曲に軍配があがるのではないかと見る識者は多く、どの曲をお願いするかで大いに迷いましたが、諸条件を勘案し、郁代さんともご相談して上記の2曲となりました。申すまでもなく両曲とも郁代さんが再々手がけておられる名曲。オードヴルのディヴェルティメントはボッセ先生が選ばれました。明年初めに卒寿を迎えられる先生は杖をお使いになり、座って指揮されますが、お元気に活躍中です。

神戸学院大学チアリーダー部 第19回 Dancing EXPO 2011

I部：メモリアルステージ II部：企画ステージ III部：CHEERステージ

今年のSEAGULLSのテーマは「凛～Be ambitious～」です。今年の単独公演では様々なジャンルのダンスやチアリーダーならではのスタンツなど、盛りだくさんのステージをご用意しています。I部では新歓ステージや学祭ステージで踊った曲を、II部ではJazzダンスやHip hop、パレオなど様々なバラエティに富んだダンスを、III部では応援ダンスやよさこいなど、たくさんの方の演技を披露いたします。ぜひご来場ください。

ダンス公演「春昼」「黄昏れる砂の城」～泉鏡花を踊る

構成・振付/サイトウマコト 出演/ザビエル守之助 白井麻子 関典子 ヤザキタケシ

明治から昭和初期にかけて、ロマンティズムあふれる幻想的な作風で読者を魅了した泉鏡花。彼の短編小説「春昼」「春昼後刻」を下敷きにした、コンテンポラリーダンスをご覧いただきます。小説を下敷きにしたといっても、物語のあらすじを丹念にたどっていくような作品ではありません。一瞬の出会いから、夢の中で呼び交わり、遂には焦がれ死んでいく、その後を追って命を絶つ…という痛切な幻想のエッセンスと、鏡花の文体を思わせるような濃密な身体感の反応をお楽しみください。

神戸学院大学混声合唱団パンドラ 第24回定期演奏会

客演指揮/西牧 潤 北井春花 学生指揮/三浦 茜

- 曲目 ● ZAKURO(Steve Dobrogosz) ● 空、海、大地と木のうた(新実 徳英)
- ルネサンス曲集「時は花祭りの5月」、「インスブルックよ さようなら」他

私たちは「歌を愛し、楽しむ」をモットーに日々活動しています。パンドラは合唱団としては少人数ですが、だからこそ息の合った演奏が生まれるのだと思います。

「空、海、大地と木のうた」は母なる自然を壮大に歌い上げた曲集、「ルネサンス曲集」はイギリスとドイツのルネサンス時代(15～16世紀)の古い合唱曲です。どのステージも楽しんでいただけたと思いますので、練習の集大成である私たちの定期演奏会に是非お越しください。

東日本大震災チャリティーコンサート 神戸学院大学管弦楽団 第17回定期演奏会

「REVIVAL 鎮魂・復興 ～KOBEからエールを～」

- 曲目 ● 田尻彰男…………… 交響的組曲「神戸の壁」—震災からの叙事詩—(初演)
- シベリウス…………… 交響曲第2番 ニ長調 作品43 他

太平洋戦争中の神戸大空襲、阪神・淡路大震災にも耐えた震災モニュメント「神戸の壁」をテーマに、元神戸市立須磨高校教諭、田尻彰男氏が作曲した「神戸の壁」を、今回の演奏会で初めて披露します。また、絶望から希望の謳歌をうたったシベリウスの「交響曲第2番」を演奏します。今回の演奏会は、震災を経験した神戸から、東日本大震災の復興を願うチャリティーコンサートとして位置づけ、会場では募金活動のほか、震災・津波被害、支援の様子を撮影した写真展も行います。

出演者の希望で曲目が変更されることがあります。ご了承ください。